



TITLE:

目次<大学におけるセクシュアル ・ハラスメントを考える:シンポジ ウム講演の記録>

AUTHOR(S):

CITATION:

目次<大学におけるセクシュアル・ハラスメントを考える:シンポジウム講演の記録>. 女性教員・女子卒業生からみた京都大学:研究・教育環境調査から 1996

ISSUE DATE:

1996-03-31

URL:

<http://hdl.handle.net/2433/193034>

RIGHT:

「大学におけるセクシュアル・ハラスメント を考える」

—シンポジウム講演の記録—

目 次

はじめに 1
「セクシュアル・ハラスメントとは何か」	甲南女子大学 牟田和恵..... 4
1. セクシュアル・ハラスメント問題との出会い	
2. セクシュアル・ハラスメントとは何か	
3. 大学に調査・調停機関が必要	
4. なぜ、大学が責任を負わなくてはならないか	
5. なぜ、被害者は我慢するか	
6. 女性は我慢することに慣らされている	
7. 自分の尊厳を守ることを教える—大学教育の役割—	
8. 性差別・性役割の押しつけとセクシュアル・ハラスメント	
「男性の目からみたセクシュアル・ハラスメント」	大阪大学 伊藤公雄..... 12
1. セクシュアル・ハラスメントにたいする男女の認識のズレ	
2. セクシュアル・ハラスメントは男性の問題ではないか	
3. なぜ男性はセクシュアル・ハラスメントに走るか	
(1) 性役割のあふれ出し論／男性の本質＝暴力論	
(2) 男性覇権を求める指向性—男性性へのこだわり—	
4. 男性ヘゲモニーの3つの指向性—優越、所有、権力—	
5. 日本社会とセクシュアル・ハラスメント	
6. 大学社会とジェンダー・バイアス	
「アメリカの大学にみるセクシュアル・ハラスメント対応」	龍谷大学 河村能夫..... 22
1. はじめに	
2. アメリカの大学キャンパスにおける20年の変遷	
3. セクハラ的神話と現実	
4. セクハラ of 定義	
5. セクハラへの制度的対応	
6. セクハラ対応にみる大学の基本姿勢	
7. アメリカの経験から学ぶこと	